

労働安全衛生【DMA,LA6,LA10】

花王のアプローチ

従業員が安心して働くことができる職場環境を整備するため、労働安全衛生活動に関する基本的事項を定めています。また、従業員の安全・健康を確保する活動を行なっています。

社会的課題と花王のアプローチ

労働災害防止や健康増進が叫ばれている中で、花王では、花王レスポンシブル・ケア(RC)方針に「労働安全衛生」の活動方針を定め、作業・機械・化学物質のリスクアセスメント活動、健康診断の確実な実施とフォロー、メンタルヘルス対策に注力し

て活動し、SDGsの目標8「包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する」への寄与に努めます。

方針

花王は「労働安全衛生」の活動方針を、花王レスポンシブル・ケア(RC)方針にて「労働災害の撲滅、潜在的危険性の低減を図るとともに、快適な職場環境の形成と従業員の健康増進に努める」と明確に定めています。事業活動に伴う事故や災害から社員を守り、安全で安定した操業を維持するため、事故・災害の

発生状況や原因を把握・分析し、分析内容はグループ全体で共有し、再発防止につなげています。

→花王レスポンシブル・ケア方針
http://www.kao.com/jp/corp_csr/eco_activities_05_00.html

体制

花王レスポンシブル・ケア方針および推進体制や活動については、右記のページに掲載しています。

→P183「レスポンシブル・ケア活動」

教育と浸透

各事業場で社員・派遣社員を対象に労働安全衛生に関する教育計画を立て、実施しています。入社時・配転時の配転先での安全衛生教育は必ず行なっています。また、特別教育の必要な業務をリストアップし、必要な教育を実施しています。

さらに毎年、社長からの安全メッセージと安全ポスターを発行し、安全意識の向上を図っています。

→P155「カルチャー」>保安防災／教育と浸透」

中長期目標

花王は2020年にグローバルでトップレベルの安全衛生を満たす企業になることをめざしています。

社員、協力会社共に、死亡・機能損失災害「ゼロ人」、休業度

数率「0.10以下」、業務上交通事故については、過失100%人身事故件数「ゼロ件」を2020年目標としています。

2016年の目標と実績

グローバル

「労働災害の撲滅」「快適な職場環境の形成と従業員の健康増進」の2つの視点から活動を推進しました。

具体的には「労働災害の撲滅」として、既存設備に対する作業・機械のリスクアセスメントの推進、ヒヤリハット提案による改善の推進、新設設備の稼動前リスクアセスメントと安全検収、設備安全対策とルールへの周知・遵守による設備災害の防止、階段などでの転倒転落防止、業務上の交通事故の防止などに注力

しました。

「快適な職場環境の形成と従業員の健康増進」としては、作業環境管理強化、健康診断の確実な実施とフォロー、健康促進の活動、ストレスチェック、化学物質のリスクアセスメントを推進しました。

また、各事業場で定期的に行なう安全衛生委員会で、活動の予定や実績を報告し、従業員に周知しています。

2016年 目標と実績(花王グループ)

項目	指標	対象	2014年	2015年	2016年		
			実績	実績	目標	実績	
労働災害	死亡、機能損失災害※1 (人)	社員+派遣社員(花王グループ)	0	0	ゼロ	0	
		内訳	日本	0	0	—	0
			アジア	0	0	—	0
			米州	0	0	—	0
			欧州	0	0	—	0
		協力会社(花王グループ)	0	0	ゼロ	0	
		内訳	日本	0	0	—	0
			アジア	0	0	—	0
			米州	0	0	—	0
			欧州	0	0	—	0
	休業度数率※2	社員+派遣社員(花王グループ)★	0.54	0.61	0.31以下	0.67	
		内訳	日本	0.27	0.30	—	0.47
			アジア	0.74	1.10	—	0.31
			米州	5.46	3.61	—	3.20
			欧州	5.88	2.53	—	4.12
		参考：日本化学工業協会加盟会社 社員+派遣社員	0.33	0.29	—	—	
		協力会社(花王グループ)★	0.45	0.82	0.34以下	0.56	
		内訳	日本	0.23	0.40	—	0.65
アジア	0.48		1.12	—	0.13		
米州	0.00		0.00	—	0.00		
欧州	5.32		4.30	—	5.81		
参考：日本化学工業協会加盟会社 協力会社	0.43	0.50	—	—			

※1 機能損失災害：負傷が治った時に障がい(障害等級5級以上)が残る災害

※2 休業度数率：100万のべ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数(休業1日以上および体の一部または機能を失ったもの)

2016年 目標と実績(花王グループ)

項目	指標	対象	2014年	2015年	2016年		
			実績	実績	目標	実績	
労働災害	全災害度数率※3	社員+派遣社員(花王グループ)	2.60	2.03	1.60以下	1.96	
		内訳	日本	1.69	1.63	—	1.93
			アジア	2.08	1.69	—	0.80
			米州	11.70	7.23	—	4.79
			欧州	35.30	7.59	—	6.33
		協力会社(花王グループ)	2.36	2.18	0.88以下	1.32	
		内訳	日本	2.41	2.09	—	1.49
			アジア	2.07	2.23	—	0.77
			米州	0.00	0.00	—	0.00
			欧州	7.97	4.30	—	7.75
	強度率※4	社員+派遣社員(花王グループ)	0.01	0.01	—	0.02	
		内訳	日本	0.01	0.01	—	0.01
			アジア	0.04	0.02	—	0.01
			米州	0.11	0.09	—	0.10
			欧州	0.10	0.02	—	0.06
		参考：日本化学工業協会加盟会社 社員+派遣社員	0.12	0.01	—	—	
		協力会社(花王グループ)	0.02	0.01	—	0.03	
		内訳	日本	0.03	0.01	—	0.05
			アジア	0.01	0.01	—	0.01
			米州	0.00	0.00	—	0.00
欧州	0.04		0.10	—	0.05		
参考：日本化学工業協会加盟会社 協力会社	0.20	0.14	—	—			
交通事故	過失100%人身事故(件)	販売・配送 (日本)	17	14	ゼロ	24	
	過失0%以外百台率※5		8.67	7.75	6.1以下	7.10	

※3 全災害度数率：100万のべ実労働時間当たりの労働災害によるすべての被災者数(不休業災害を含む)

※4 強度率：損失日数/のべ実労働時間×1000

※5 過失0%以外百台率：過失0%以外の交通事故件数(件)/保有車両台数(台)×100

2017年の目標

グローバル

2017年の目標は、花王グループの目標のみとし、事故・災害の発生防止に努めます。
 なお、交通事故のうち過失0%以外百台率についての目標は海外の状況を確認後、設定します。

2017年の目標(花王グループ)

項目	対象	指標	2017年目標
労働災害	社員・派遣社員	死亡、機能損失災害 ^{※1} (人)	ゼロ
		休業度数率 ^{※2}	0.26以下
		全災害度数率 ^{※3}	1.34以下
	協力会社社員	死亡、機能損失災害 ^{※1} (人)	ゼロ
		休業度数率 ^{※2}	0.27以下
		全災害度数率 ^{※3}	0.81以下
交通事故	販売・配送	過失100%人身事故(件)	ゼロ
		過失0%以外百台率 ^{※4}	—

※1 機能損失災害：負傷が治った時に障がい(障害等級5級以上)が残る災害

※2 休業度数率：100万のべ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数(休業1日以上および体の一部または機能を失ったもの)

※3 全災害度数率：100万のべ実労働時間当たりの労働災害によるすべての被災者数(不休業災害を含む)

※4 過失0%以外百台率：過失0%以外の交通事故件数(件)／保有車両台数(台)×100

ステークホルダーとの協働

生産・研究の事業場や物流拠点では、協力会社の安全を確保するため、協力会社とともに安全や防災行事に参加しています。また、毎月、協力会社との間で、花王グループ内の労働災害事故事例とその対策などの安全に関する情報を共有し、協働

で安全活動を推進しています。

花王ロジスティクス部門においても、配送委託会社との間で毎年会議を開催し、交通事故撲滅活動に協力していただいています。

具体的な取り組み

労働災害発生状況

グローバル

2016年の社員・派遣社員および協力会社の労働災害による死亡は0人でした。

社員・派遣社員の労働災害による被災者数は156人で、そのうち休業被災者数は53人でした。

災害の主な要因は、不注意や確認不足による「転倒・転落」54人、次いで「動作反動」によるものが18人、「はさまれ巻込ま

れ」によるものが16人でした。「転倒・転落」災害が最も多いことから、転倒・転落災害の対策を中心に、活動を推進していきます。

協力会社社員の労働災害による被災者数は26人で、そのうち休業被災者数は11人でした。

化学物質のリスクアセスメント

グローバル

花王の生産事業場では多くの種類の化学物質を取り扱っていることから、自然環境汚染リスクはゼロではありません。そこで、既存設備が人や環境に及ぼす影響評価を完了し、リスク低減の

ための措置を行なっています。また、設備を増改築する際、事前に人や環境に及ぼす影響を評価しています。

休業無災害表彰制度を海外へ拡大

グローバル

これまで国内工場が対象だった休業無災害表彰制度を、さらなる安全意識向上を図るために海外の工場まで対象を拡大しました。

海外工場最初の表彰は、2016年12月に、上海カネボウの工場に対して行ないました。これは、ステージ3達成を表彰したものです。

表彰基準

ステージ	表彰基準
1	3年
2	5年もしくは540万時間
3	7年もしくは810万時間
4	10年もしくは1,220万時間
5	15年もしくは1,830万時間
6	25年もしくは3,000万時間



休業無災害表彰記念トロフィー



上海カネボウのステージ3達成を表彰